

バズセッションとは

話し合いを行う目的は3つほど考えられます。一つは、話し合うことによりお互いの考え方や気持ちもわかり、親しみを感じられ、人間関係が深まることです。二つ目は、話し合う中で、その問題に対する考え、知識が深まり、幅広く検討することができることです。三つ目は、問題に対する解決がはかれることです。

話し合いのねらいにより、話し合いの方法を選択します。バズセッションは一つ目と二つ目に適した話し合いの形式です。

話し合いのすすめ方は、全員を小さなグループに分けます。6人ほどが適当です。それぞれのグループで少ない時間、問題について話し合いを行います。1人1分という場合があります。6人ですから6分話し合うので、6・6式討議と名付けられています。テーマを変えて、話し合いを積み重ねるのです。それで、それぞれのグループで話し合ったことを発表します。

近くで話をするので話し声がワットしている、ハチの巣を思わせるのでブンブン会議とも言います。バズとは羽音の意味です。

特徴は、全員が参加できることです。その中で、各自の意見を知ることが出来るので、視野が広がり、考えが深まります。人間関係も深まります。

友の会の講演会の後での話し合いはバズセッションです。



ムクゲ

私の読んだ本

「ありがとう」

日本一短い手紙を選んでいる、福井県坂井市丸岡町の話はご存じだと思います。徳川家の家臣、本多作左衛門重次が戦場から家族に送った手紙「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」が、日本一短い手紙だと言われています。後に丸岡城主になった本多作左衛門にちなみ、丸岡町が募集を始めたのです。20年続き、2012年のテーマが「ありがとう」です。63,745通の応募があったということです。

たまたま入った古書店で目に入ったので買いました。この本は、「ありがとう」をテーマの手紙を218篇載せているのです。大賞、佳作に選ばれた文をいくつか紹介します。

*「おとうと」へ おかざき まさひこ 小学校3年

まねするな。くつつくな。すぐよぶな。でも、そばにいてくれてありがとう。心強いよ。

いつもくつついてくる弟がわずらわしい。でも、一人では心細いとき、また、何かと気持ちが通い合うとき、心の中で「ありがとう」と言う兄貴。ほほえましい光景です。

*「鬼のようなかーさん」へ 山本 朋加 中学2年

一回しか書きません。口には絶対出しません。普段は絶対言いません。…ありがとう。

子供が、母親にいつも怒られているのに、しかし、腹の中では感謝している。その感謝の気持ちを、恥ずかしくて口には出来ない様子がよく現れている文章です。

*「妻から夫がかくイビキ様」へ 益岡 妙子 63歳主婦

貴方のは、すごいよ。68歳の今『息してる』と、安心です。ありがとういびきさん。

感謝している対象はいびきです。感謝は人に対してばかりではありません。

変な感想ですが、この本を読んで、老若男女が様々なものに感謝の気持ちを持つ日本は大丈夫だと思いました。(原)